



2023年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年8月5日

上場会社名 三井化学株式会社

上場取引所 東

コード番号 4183 URL <https://jp.mitsuichemicals.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 修

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 井上 純一 TEL 03-6253-2100

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	476,113	28.5	44,580	△14.2	42,949	△19.3	29,951	△34.4	27,992	△34.3	54,615	9.0
2022年3月期第1四半期	370,591	45.6	51,940	ー	53,227	ー	45,660	ー	42,624	ー	50,097	ー

(参考) 税引前四半期利益 2023年3月期第1四半期 40,819百万円 2022年3月期第1四半期 51,885百万円
コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	144.86	ー
2022年3月期第1四半期	217.53	ー

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,052,115	845,447	749,566	36.5
2022年3月期	1,934,965	807,122	712,654	36.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	ー	55.00	ー	65.00	120.00
2023年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2023年3月期(予想)	ー	60.00	ー	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2022年3月期の期末配当の内訳は普通配当が60円、記念配当が5円です。

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,020,000	37.2	82,500	△12.5	80,500	△14.8	62,000	△21.4	57,000	△22.9	294.98
通期	2,160,000	33.9	140,000	△13.5	138,000	△6.3	110,000	△7.2	100,000	△9.1	517.50

(参考) 税引前利益 第2四半期(累計)77,500百万円 通期133,000百万円

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	204,653,315株	2022年3月期	204,653,315株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	11,418,449株	2022年3月期	11,417,375株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	193,235,150株	2022年3月期1Q	195,942,753株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他関連する事項については、【添付資料】5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報)	14
(重要な後発事象)	16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(全般的状況)

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日の3ヶ月間。以下「当四半期」といいます。)における事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響緩和に伴う経済社会活動の正常化により、景気持ち直しの動きが継続しましたが、ウクライナ情勢等による不透明感が継続するとともに、中国における経済活動抑制の影響も残っております。日本経済においても、経済社会活動の正常化が進み、景気持ち直しの動きが継続したものの、一方で、原材料価格の上昇、円安の進行等に伴う景気の下振れが懸念されております。

このような情勢のもとで、当社グループの当四半期の業績は以下のとおりとなりました。

なお、当社は経営指標の一つとしてコア営業利益を採用しております。コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出しております。

(単位:億円)

	売上収益	コア営業利益	営業利益	親会社の所有者に帰属する四半期利益
当四半期	4,761	446	429	280
前年同四半期	3,706	519	532	426
増減額	1,055	△73	△103	△146
増減率(%)	28.5	△14.2	△19.3	△34.3

売上収益は、前年同四半期に比べ1,055億円増(28.5%増)の4,761億円となりました。これは、ナフサなどの原燃料価格の上昇に伴う販売価格上昇などによるものです。

コア営業利益は、前年同四半期に比べ73億円減(14.2%減)の446億円となりました。これは、自動車減産などによる販売数量の減少や、固定費他の増加があったことなどによるものです。

営業利益は、コア営業利益の減少に伴い、前年同四半期に比べ103億円減(19.3%減)の429億円となりました。

金融収益・費用は、前年同四半期に比べ8億円悪化の21億円の損失となりました。

以上により、**税引前四半期利益**は、前年同四半期に比べ111億円減(21.3%減)の408億円となりました。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同四半期に比べ146億円減(34.3%減)の280億円となり、基本的1株当たり四半期利益は144.86円となりました。

当四半期のセグメント別の状況は、次のとおりです。

なお、当社は長期経営計画「VISION2030」の実現に向け、事業ポートフォリオの改定及び、それに伴う報告セグメントの見直しを行っております。詳細は「2. (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報）」及び、2021年11月25日リリースの「2022年4月全社組織改正について（注）」をご参照ください。

（注）<https://jp.mitsuichemicals.com/sites/default/files/media/document/2021/211125.pdf>

また、前年同四半期のセグメントにつきましても、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

（ライフ&ヘルスケア・ソリューション）

当セグメントの売上収益は、前年同四半期に比べ64億円増の587億円、売上収益全体に占める割合は12%となりました。一方、コア営業利益は、主にビジョンケア材料と農業化学品の販売が堅調に推移したものの、不織布における原料価格上昇に伴う交易条件悪化により、前年同四半期に比べ2億円減の62億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・減益となりました。

ビジョンケア材料のメガネレンズ用材料は、需要の拡大に的確に対応し、販売が堅調に推移しました。

不織布は、原料価格上昇に伴い交易条件が悪化しました。

オーラルケア材料は、販売が前年同四半期並で推移しました。

農業化学品は、海外の販売が堅調に推移しました。

（モビリティソリューション）

当セグメントの売上収益は、前年同四半期に比べ197億円増の1,206億円、売上収益全体に占める割合は25%となりました。一方、コア営業利益は、主に価格改定及び為替差により交易条件が改善したものの、自動車減産などによる販売減少により、前年同四半期に比べ1億円減の95億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・減益となりました。

エラストマー、機能性コンパウンド及びPPコンパウンド事業は、自動車減産などにより販売が減少したものの、価格改定及び為替差により交易条件が改善しました。

ソリューション事業は、試作・開発案件の延期等が継続し、販売は前年同四半期並で推移しました。

（ICTソリューション）

当セグメントの売上収益は、前年同四半期に比べ86億円増の592億円、売上収益全体に占める割合は13%となりました。また、コア営業利益は、主に半導体・光学材料等の為替差等による交易条件改善により、前年同四半期並の92億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・前年同四半期並の利益となりました。

半導体・光学材料及びコーティング・機能材は、為替差等により交易条件が改善しました。

機能性フィルム・シートは、産業用フィルム分野における販売が前年同四半期並で推移しました。

（ベーシック&グリーン・マテリアルズ）

当セグメントの売上収益は、前年同四半期に比べ710億円増の2,343億円、売上収益全体に占める割合は49%となりました。一方、コア営業利益は、ビスフェノールA等の海外市況の下落等により、前年同四半期に比べ62億円減の208億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・減益となりました。

ナフサクラッカーの稼働率は、川下製品の需要減退の影響を受けたものの堅調に推移しました。また、**ポリエチレン**及び**ポリプロピレン**の販売は、前年同四半期並で推移しました。

（その他）

当セグメントの売上収益は、前年同四半期に比べ2億円減の33億円、売上収益全体に占める割合は1%となりました。また、コア営業損失は、前年同四半期に比べ5億円増の7億円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、資本の状況)

当四半期末の**資産合計**は、前期末に比べ1,171億円増の2兆521億円となりました。

当四半期末の**負債合計**は、前期末に比べ788億円増の1兆2,067億円となりました。また、**有利子負債**は687億円増の7,838億円となりました。この結果、資産合計に対する有利子負債の比率は前期末に比べ1.2ポイント増の38.2%となりました。

当四半期末の**資本合計**は、前期末に比べ383億円増の8,454億円となり、**親会社所有者帰属持分比率**は前期末に比べ0.3ポイント減の36.5%となりました。

以上により、当期末の**ネットD/Eレシオ**（**ネット有利子負債**（有利子負債－現預金・長期性預金）／**親会社の所有者に帰属する持分**）は、前期末に比べ0.04ポイント増の0.79となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当四半期の現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）は、前期末に比べ97億円増加し、当四半期末には1,909億円となりました。

・営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によって使用された資金は、106億円（前年同四半期は287億円の収入）となりました。これは主に、運転資本が増加したことなどによるものです。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によって使用された資金は、前年同四半期に比べ102億円増の333億円となりました。これは主に、設備投資による支出が増加したことなどによるものです。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によって得られた資金は、前年同四半期に比べ307億円増の444億円となりました。これは主に、有利子負債の借入額が増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年8月5日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、第2四半期連結累計期間及び通期業績予想について見直しを行っております。

(業績の見通し)

業績予想の修正にあたり、第2四半期連結累計期間の為替レートは130円/\$、国産ナフサ価格は86,000円/KL、通期の為替レートは130円/\$、国産ナフサ価格は86,000円/KLを前提としております。

従来未定としていた第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、当四半期の実績を踏まえ、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき開示することといたしました。

通期の業績予想につきましては、ナフサ価格が当初想定を上回って推移することにより、販売価格上昇が見込まれることから、ベーシック&グリーン・マテリアルズセグメントにおいて、売上収益は前回発表予想数値から増加する見込みです。

(単位：億円)

	売上収益	コア営業利益	営業利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
第2四半期連結累計期間	10,200	825	805	570
通期	21,600	1,400	1,380	1,000

(セグメント別の見通し)

セグメント別の見通しは、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	売上収益						合計
	ライフ&ヘルスケア・ソリューション	モビリティソリューション	ICTソリューション	ベーシック&グリーン・マテリアルズ	その他	全社費用等	
第2四半期連結累計期間	1,230	2,550	1,200	5,150	70	—	10,200
通期	2,460	5,380	2,440	11,190	130	—	21,600

(単位：億円)

	コア営業利益						合計
	ライフ&ヘルスケア・ソリューション	モビリティソリューション	ICTソリューション	ベーシック&グリーン・マテリアルズ	その他	全社費用等	
第2四半期連結累計期間	125	205	170	330	15	△20	825
通期	270	415	365	460	△70	△40	1,400

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	181,152	190,868
営業債権	370,426	389,272
棚卸資産	369,009	433,405
その他の金融資産	43,496	42,763
その他の流動資産	27,258	34,897
小計	991,341	1,091,205
売却目的で保有する資産	42,104	42,104
流動資産合計	1,033,445	1,133,309
非流動資産		
有形固定資産	513,950	520,746
使用権資産	39,634	40,457
のれん	17,981	18,075
無形資産	45,341	45,875
投資不動産	21,546	21,546
持分法で会計処理されている投資	133,157	146,940
その他の金融資産	55,757	58,949
退職給付に係る資産	60,750	52,296
繰延税金資産	8,579	9,100
その他の非流動資産	4,825	4,822
非流動資産合計	901,520	918,806
資産合計	1,934,965	2,052,115

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	174,844	205,269
社債及び借入金	346,615	430,320
未払法人所得税	12,903	11,208
その他の金融負債	127,608	118,739
引当金	2,474	3,738
その他の流動負債	42,125	31,486
流動負債合計	706,569	800,760
非流動負債		
社債及び借入金	319,471	304,255
その他の金融負債	49,297	49,392
退職給付に係る負債	18,857	19,647
引当金	5,051	4,024
繰延税金負債	28,133	28,112
その他の非流動負債	465	478
非流動負債合計	421,274	405,908
負債合計	1,127,843	1,206,668
資本		
資本金	125,414	125,414
資本剰余金	69,866	69,866
自己株式	△34,932	△34,935
利益剰余金	516,098	524,632
その他の資本の構成要素	36,208	64,589
親会社の所有者に帰属する持分合計	712,654	749,566
非支配持分	94,468	95,881
資本合計	807,122	845,447
負債及び資本合計	1,934,965	2,052,115

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上収益	370,591	476,113
売上原価	△271,045	△371,526
売上総利益	99,546	104,587
販売費及び一般管理費	△54,968	△68,508
その他の営業収益	3,037	583
その他の営業費用	△2,171	△2,723
持分法による投資利益	7,783	9,010
営業利益	53,227	42,949
金融収益	750	4,325
金融費用	△2,092	△6,455
税引前四半期利益	51,885	40,819
法人所得税費用	△6,225	△10,868
四半期利益	45,660	29,951
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	42,624	27,992
非支配持分	3,036	1,959
四半期利益	45,660	29,951
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	217.53	144.86

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期利益	45,660	29,951
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	317	1,387
確定給付制度の再測定	613	△6,989
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△33	△8
純損益に振り替えられることのない項目合計	897	△5,610
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	1,179	26,894
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分	87	△412
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	2,274	3,792
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	3,540	30,274
税引後その他の包括利益合計	4,437	24,664
四半期包括利益	50,097	54,615
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	46,943	49,475
非支配持分	3,154	5,140
四半期包括利益	50,097	54,615

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定
2021年4月1日残高	125,331	74,009	△24,900	424,084	11,606	—
四半期利益	—	—	—	42,624	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	260	607
四半期包括利益合計	—	—	—	42,624	260	607
自己株式の取得	—	—	△9	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△9,797	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	519	88	△607
所有者との取引額等合計	—	—	△9	△9,278	88	△607
2021年6月30日残高	125,331	74,009	△24,909	457,430	11,954	—

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分	合計				
2021年4月1日残高	△1,497	△712	9,397	607,921	74,236	682,157
四半期利益	—	—	—	42,624	3,036	45,660
その他の包括利益	3,374	78	4,319	4,319	118	4,437
四半期包括利益合計	3,374	78	4,319	46,943	3,154	50,097
自己株式の取得	—	—	—	△9	—	△9
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△9,797	△2,573	△12,370
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△519	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	△519	△9,806	△2,573	△12,379
2021年6月30日残高	1,877	△634	13,197	645,058	74,817	719,875

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2022年4月1日残高	125,414	69,866	△34,932	516,098	14,558	—
四半期利益	—	—	—	27,992	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	1,388	△6,994
四半期包括利益合計	—	—	—	27,992	1,388	△6,994
自己株式の取得	—	—	△4	—	—	—
自己株式の処分	—	△0	1	—	—	—
配当金	—	—	—	△12,560	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	△6,898	△96	6,994
所有者との取引額等合計	—	△0	△3	△19,458	△96	6,994
2022年6月30日残高	125,414	69,866	△34,935	524,632	15,850	—

	親会社の所有者に帰属する持分					
	在外営業活動体の換算差額	キャッシ ユ・フロ ー・ヘッジ の公正価値 の純変動の 有効部分	合計	親会社の所 有者に帰属 する持分合 計	非支配持分	資本合計
2022年4月1日残高	21,911	△261	36,208	712,654	94,468	807,122
四半期利益	—	—	—	27,992	1,959	29,951
その他の包括利益	27,452	△363	21,483	21,483	3,181	24,664
四半期包括利益合計	27,452	△363	21,483	49,475	5,140	54,615
自己株式の取得	—	—	—	△4	—	△4
自己株式の処分	—	—	—	1	—	1
配当金	—	—	—	△12,560	△3,727	△16,287
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	6,898	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	6,898	△12,563	△3,727	△16,290
2022年6月30日残高	49,363	△624	64,589	749,566	95,881	845,447

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	51,885	40,819
減価償却費及び償却費	19,749	21,842
減損損失(又は戻入れ)	9	1,642
受取利息及び受取配当金	△581	△752
支払利息	978	1,084
持分法による投資損益(△は益)	△7,783	△9,010
営業債権の増減額(△は増加)	△7,144	△9,795
棚卸資産の増減額(△は増加)	△26,423	△53,805
営業債務の増減額(△は減少)	18,665	23,900
未払費用の増減額(△は減少)	△5,161	△5,782
その他	△9,628	△7,223
小計	34,566	2,920
利息及び配当金の受取額	1,684	1,549
保険金の受取額	478	61
利息の支払額	△960	△1,121
法人所得税の支払額	△7,115	△14,051
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,653	△10,642
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△917
有価証券の売却及び償還による収入	—	874
有形固定資産の取得による支出	△23,157	△31,537
有形固定資産の売却による収入	186	47
無形資産の取得による支出	△783	△864
無形資産の売却による収入	1	7
投資有価証券の取得による支出	△93	△1,369
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	114
子会社の売却による収入	5,547	—
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	△4,830	—
その他	51	397
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,078	△33,248

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	9,022	28,841
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△10,000	30,000
長期借入れによる収入	15,071	5,190
長期借入金の返済による支出	△812	△710
社債の発行による収入	15,000	—
社債の償還による支出	△71	—
リース負債の返済による支出	△2,449	△2,437
自己株式の売却による収入	—	1
自己株式の取得による支出	△9	△4
配当金の支払額	△9,797	△12,560
非支配持分への配当金の支払額	△2,249	△3,902
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,706	44,419
現金及び現金同等物に係る換算差額	414	9,187
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	19,695	9,716
現金及び現金同等物の期首残高	195,987	181,152
現金及び現金同等物の四半期末残高	215,682	190,868

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

①報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					計	その他 (注1)	調整額 (注2)	連結
	ライフ& ヘルスケア・ ソリューション	モビリティ ソリューション	ICT ソリューション	ベーシック& グリーン・ マテリアルズ					
売上収益									
外部顧客への 売上収益	52,341	100,884	50,584	163,335	367,144	3,447	—	370,591	
セグメント間の 内部売上収益	845	1,850	1,434	26,218	30,347	14,140	△44,487	—	
計	53,186	102,734	52,018	189,553	397,491	17,587	△44,487	370,591	
セグメント利益 又はセグメント 損失(△) (コア営業利益)	6,406	9,616	9,259	26,963	52,244	△253	△51	51,940	

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△51百万円には、各報告セグメントには配分していない全社損益337百万円及び、セグメント間消去取引△388百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費、報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差額等であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	調整額 (注2)	連結
	ライフ& ヘルスケア・ ソリューション	モビリティ ソリューション	ICT ソリューション	ベーシック& グリーン・ マテリアルズ	計			
売上収益								
外部顧客への 売上収益	58,653	120,627	59,160	234,306	472,746	3,367	—	476,113
セグメント間の 内部売上収益	1,190	617	1,627	37,253	40,687	19,185	△59,872	—
計	59,843	121,244	60,787	271,559	513,433	22,552	△59,872	476,113
セグメント利益 又はセグメント 損失(△) (コア営業利益)	6,188	9,462	9,175	20,844	45,669	△725	△364	44,580

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△364百万円には、各報告セグメントには配分していない全社損益△249百万円及び、セグメント間消去取引△115百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費、報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差額等であります。

セグメント利益から、税引前四半期利益への調整は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
セグメント損益	51,940	44,580
減損損失	△9	△1,642
固定資産処分損	△117	△179
その他	1,413	190
営業利益	53,227	42,949
金融収益	750	4,325
金融費用	△2,092	△6,455
税引前四半期利益	51,885	40,819

②報告セグメント区分の変更

当社は、2021年を起点とした2030年までの長期経営計画「VISION2030」の実現に向け、事業ポートフォリオの改定を行っております。これに伴い、当第1四半期連結累計期間より報告セグメントを見直し、従来の「モビリティ」、「ヘルスケア」、「フード&パッケージング」、「基盤素材」の4区分から、「ライフ&ヘルスケア・ソリューション」、「モビリティソリューション」、「ICTソリューション」、「ベーシック&グリーン・マテリアルズ」の4区分に変更いたしました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報につきましても、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

セグメントごとに製造・販売をしている主要製品は、下記のとおりであります。

セグメント	主要製品	
報告セグメント	ライフ&ヘルスケア・ソリューション	ビジョンケア材料、不織布、オーラルケア材料、パーソナルケア材料、農業化学品
	モビリティソリューション	エラストマー、機能性コンパウンド、ポリプロピレン・コンパウンド、自動車等工業製品の開発支援業務（ソリューション事業）
	ICTソリューション	半導体・電子部品工程部材、光学材料、リチウムイオン電池材料・次世代電池材料、高機能食品包装材料
	ベーシック&グリーン・マテリアルズ	エチレン、プロピレン、ポリエチレン、ポリプロピレン、触媒、フェノール類、高純度テレフタル酸、ペット樹脂、ポリウレタン材料、工業薬品
その他	その他	その他関連事業等

(重要な後発事象)

(Mitsui Chemicals & SKC Polyurethanes Inc. 有償減資に伴う出資持分の払い戻し)

当社は、2021年9月29日開催の取締役会において、当社とSKC Co., Ltd. のポリウレタン原料事業を統合した共同支配企業であるMitsui Chemicals & SKC Polyurethanes Inc. (以下、「MCNS」といいます。)の合弁契約を解消することを決定し、同日付で合弁解消に関する契約書を締結しております。2022年7月14日において、MCNSから当社に対する有償減資による出資持分の払い戻しが行われ、合弁解消に伴う関連費用控除後の382億円の入金がありました。

当第1四半期連結会計期間における要約四半期連結財政状態計算書に計上されている売却目的で保有する資産への影響はありません。また、第2四半期連結会計期間において売却目的で保有する資産を取り崩しますが、要約四半期連結損益計算書に与える影響は軽微であります。

(参考)

2023年3月期 第1四半期連結決算概要2022年8月5日
三井化学株式会社

1. 損益状況

(単位：億円)

	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	増減	2022年 3月期実績	2023年3月期業績予想 (8/5発表値)	
					2Q累計	通期
売上収益	3,706	4,761	1,055	16,127	10,200	21,600
コア営業利益	519	446	△73	1,618	825	1,400
営業利益	532	429	△103	1,473	805	1,380
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	426	280	△146	1,100	570	1,000
為替レート(円/US\$)	110	130	20	112	130	130
国産ナフサ価格(円/KL)	47,700	86,100	38,400	56,600	86,000	86,000

2. セグメント別売上収益・コア営業利益

・売上収益

(単位：億円)

	2022年 3月期 第1四半期	2023年 3月期 第1四半期	増減			2022年 3月期実績	2023年3月期業績予想 (8/5発表値)	
			計	数量差	価格差		2Q累計	通期
ライフ & ヘルスケア・ ソリューション	523	587	64	47	17	2,252	1,230	2,460
モビリティ ソリューション	1,009	1,206	197	△35	232	4,327	2,550	5,380
I C T ソリューション	506	592	86	20	66	2,071	1,200	2,440
ベーシック & グリーン・ マテリアルズ	1,633	2,343	710	72	638	7,371	5,150	11,190
その他	35	33	△2	—	△2	106	70	130
合計	3,706	4,761	1,055	104	951	16,127	10,200	21,600

・コア営業利益

(単位：億円)

	2022年 3月期 第1四半期	2023年 3月期 第1四半期	増減				2022年 3月期実績	2023年3月期業績予想 (8/5発表値)	
			計	数量差	交易条件	固定費他		2Q累計	通期
ライフ & ヘルスケア・ ソリューション	64	62	△2	12	△7	△7	249	125	270
モビリティ ソリューション	96	95	△1	△20	37	△18	332	205	415
I C T ソリューション	92	92	△0	△6	21	△15	302	170	365
ベーシック & グリーン・ マテリアルズ	270	208	△62	△11	△30	△21	778	330	460
そ の 他	△2	△7	△5	—	—	△5	△4	15	△70
全社費用等	△1	△4	△3	—	—	△3	△39	△20	△40
合 計	519	446	△73	△25	21	△69	1,618	825	1,400

※セグメント区分方法の変更

当社は、長期経営計画「VISION2030」の実現に向け、事業ポートフォリオの改定及び、それに伴う報告セグメントの見直しを行っております。詳細は「2. (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報）」及び、2021年11月25日リリースの「2022年4月全社組織改正について（注）」をご参照ください。

(注) <https://jp.mitsuichemicals.com/sites/default/files/media/document/2021/211125.pdf>

なお、2022年3月期のセグメントにつきましても、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 財政状態計算書

(単位：億円)

	資産の部				負債及び資本の部		
	2022/3末	2022/6末	増減		2022/3末	2022/6末	増減
流動資産	10,335	11,333	998	有利子負債	7,151	7,838	687
有形固定資産 及び使用権資産	5,536	5,612	76	その他負債	4,128	4,229	101
のれん及び 無形資産	633	640	7	親会社の所有者に 帰属する持分	7,127	7,496	369
非流動の その他の資産	2,846	2,936	90	非支配持分	944	958	14
資産計	19,350	20,521	1,171	負債資本計	19,350	20,521	1,171
				(NET D/Eレシオ)	(0.75)	(0.79)	(0.04)

4. キャッシュ・フロー

(単位：億円)

	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	増減	2022年 3月期実績	2023年3月期 業績予想 (5/13発表値)
					通期
営業キャッシュ・フロー	287	△106	△393	926	930
投資キャッシュ・フロー	△231	△333	△102	△2,052	△1,300
(フリーキャッシュ・フロー)	(56)	(△439)	(△495)	(△1,126)	(△370)
財務キャッシュ・フロー	137	444	307	892	290
その他	4	92	88	86	0
現預金等増減	197	97	△100	△148	△80
現預金等残高	2,157	1,909	△248	1,812	